

伊那市・高遠町・長谷村
第18回合併協議会 会議記録（概要）

平成18年3月20日 午後4時50分
長谷村「仙流荘」

1. 開 会

事務局長（塚本哲朗）

2. あいさつ

会 長（小坂樫男）：本日、最終回の合併協議会を迎えました。

平成16年9月7日に合併協議会が発足して以来、委員の皆さんには、お互いの市町村の思いを汲みながら、それぞれのお立場で意見を出していただきました。エゴを出すことなく新市の発足を迎えることができましたのも、委員の皆さんのご協力と住民の皆さんのご理解の賜物であり、改めてお礼を申し上げたいと思います。

新しい伊那市のキャッチフレーズは「二つのアルプスに抱かれた自然共生都市」です。これからもそれぞれの皆さんにご協力をいただきながら、新市のまちづくりを進めていただければ、大変ありがたいと思います。

3. 報告事項

（1）合併協議会の廃止について

事務局（山崎大行）：（資料を説明）

会 長（小坂樫男）：3市町村名で、長野県知事宛ての「伊那市・高遠町・長谷村合併協議会の廃止について（届出）」を提出します。

・・・・小坂会長から牛越上伊那地方事務所長へ届出書類を提出・・・・

オブザーバー（牛越徹上伊那地方事務所長） 合併協議会の廃止届をお受け取りいたしました。本日までの合併協議に至る委員の皆さま方のご尽力とご努力に、まずは感謝と敬意を申し上げます。

市町村合併は、合併そのものが終着点ではありません。また、単に区域を広げて行政の効率を上げるためのものでもありません。それぞれの地域が歴史や文化、個性を尊重した上で新しい時代環境に即応し、地域が持続的に発展し、その結果として住民の皆さんがより豊かさを実感できることを目指すのが市町村合併であり、その目的に添って新しい自治の仕組み作りに挑戦し続けていくということが非常に大切ではないかと思えます。

合併協議は本日で完結しましたが、新しい伊那市のまちづくりはこれからが本番です。この合併協議会における議論や信頼関係、地域を思う高い志を

新市の創造に活かしていただき、誰もが「合併してよかった」と思い、他の地域からうらやましがられるようなまちづくりを進めていただきたいと思います。

(2) その他

・特になし

4 . その他

(1) 平成 18 年度伊那市暫定予算について

事務局 (北原浩一) : (資料を説明)

5 . 閉 会

(終了 午後 5 時 1 5 分)